

## バタン発電所（インドネシア国）が商業運転を開始しました



(写真提供：PT ビマセナ パワー インドネシア)

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：渡部 肇史）は、伊藤忠商事株式会社（以下「伊藤忠商事」、本社：東京都港区、代表取締役社長COO：石井 敬太氏）、PT アダロパワー（以下「アダロパワー」、本社：インドネシア国ジャカルタ市、社長：ダルマ ジョジョネゴロ氏）と共に、事業会社 PT ビマセナ パワー インドネシア（以下「BPI」、出資比率：Jパワー34%、伊藤忠商事 32%、アダロパワー34%）を通じて建設してきたセントラルジャワ石炭火力発電所（インドネシア国中部ジャワ州バタン県、100万kW×2基）2号機の試運転を完了し、すでに商業運転を開始している1号機と併せて、本年8月31日に全基での商業運転を開始しました。

同発電所は、大型発電所としてインドネシア国の急速な電力需要増に対応するため、同国財務省および同省傘下のIIGF（インドネシア・インフラ保証基金）による保証を活用した初のPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）案件です。

更に、発電燃料にインドネシア国産の亜瀝青炭を活用すると共に、環境負荷が少ない超々臨界圧技術を使った大型ボイラー2基をインドネシア国において採用することで、同国の電



力安定供給と環境負荷低減に貢献することが期待されます。

Jパワーグループは、2021年4月に公表した中期経営計画に基づき、海外発電事業の更なる拡大に取り組み、日本と世界の持続可能な社会の発展に貢献していきます。

なお、全号機運転開始を機に現地で広く認知されている、発電所所在県名を取り入れた「ボタン発電所」をコミュニケーション用の呼称として採用しました。

<添付資料>

ボタン発電所 プロジェクト概要・位置図

Jパワー海外発電事業一覧